



名護学院

NagoMirai

31

2019.3.1

発行 社会福祉法人 名護学院
発行人 崎濱 秀政
沖縄県名護市為又1015-1
TEL (0980) 52-2277
FAX (0980) 52-6644

平成の思い出



鉢嶺克治水彩画展



～筆先に感謝を込めて～

平成30年11月6日(火)～11日(日)にかけて、イオン名護店イベント広場にて「鉢嶺克治水彩画展～筆先に感謝を込めて～」を開催されました。6日間で、延べ人数1847名の方々がご来場され、名護市内の方だけではなく、離島や南部からも足を運んでいただき、たくさんの方々にご覧いただきました。



実行委員会メンバー感想

実行委員長 嘉陽大介さん

チラシ、ポスター配りや依頼文書を作成したり、届けたりメンバーと一緒にがんばりました。沖縄タイムスや琉球新報の取材も受けました。緊張しました。本部で講演会もしました。たくさんの方の前でしゃべるのは大変でした。宣伝活動はきつかったです。でも、それをしたことで個展当日はたくさんの方が来てくれました。よかったです。

主催：鉢嶺克治水彩画展実行委員会 後援：沖縄タイムス、琉球新報、名護バイパス通り会、名護市、名護市教育委員会

実行委員 上原紳助さん

個展の時は、チラシ配りやカレンダーや画集の販売の担当をしました。いろいろな人にチラシを配ったことが楽しかったです。朝から会場にいたので車椅子の充電が切れたことが大変でした。でも、お客さんから「がんばってね」と声を掛けられ嬉しかったです。

藤野友衣さん アートキャンプ『素朴の大砲』

平成30年11月23日～26日に、名護市民会館中ホールにてアール・ブリュットとの出会い展in名護に藤野友衣さんの作品が展示されました。個性的な絵や人形を創作する藤野友衣さん、今回自ら展示会場に足を運び作品を笑顔で眺めたり、人形を手取る事がありました。

現在、創作活動はされていませんが、今回の展示会で刺激をもらい、今後の創作意欲へと繋げる良い機会になったと思います。



支援施設 里からグループホームへ地域移行

「地域生活に向けて」

里では、利用者さんの地域で生活したいというニーズを叶える為、女性2名の方が平成30年6月と12月にグループホームへ移行しました。



平成30年6月 Kさん

地域生活を目指し、スケジュールの作成やケアホームの見学や体験を経て、地域での生活を楽しんでいます。

初めは緊張した様子でしたが、ケアホームの友達や世話人さん、支援員さん達とおしゃべりをしたり、外出したり「楽しいさー」「こっちがいいさー」と、ケアホームを気に入っているようです。今ではケアホームの生活に慣れて、自主的に世話人さんのお手伝いを行っています。

これから多くの経験から新たな目標を見つけて楽しんでもらいたいです。



平成30年12月 Mさん

人見知りや恥ずかしがり屋なMさん。30代という若さと自立においても可能性を感じ、ケアホームの情報を伝え、見学や体験を進めてきました。環境の変化に敏感な方ですが、ケアホームの体験では、支援施設 里では見せない積極的な行動や良い表情を見る事ができました。

これからたくさんの方との出会いや、色々な経験から楽しみを見つけ地域生活を送ってもらいたいです。

ワークサポートひびきから就職

去年10月27日から、イオン名護店農産部でトライアル雇用をスタートしました。僕の仕事は、野菜のカット、ほじゅう、値段のシールはりをしています。さいしょは、仕事をおぼえるのに精一杯でした。だんだん仕事になれてきて、すごくやりがいを感じています。これからは、自分を支えてくださった人たちにかんしゃの気持ちを忘れずに、自分が信じた道にすすみます。

知花 滉太郎

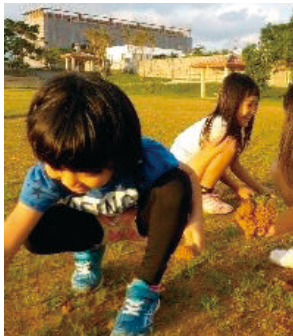


第61回 沖縄県社会福祉大会

平成30年10月25日(木)沖縄コンベンションセンターにて、第61回沖縄県社会福祉大会が開催され、名護学院家族会(沖縄県手をつなぐ育成会)から、「大会長表彰」として当法人理事であります、仲兼久 登氏が表彰されました。長年に渡る福祉事業の貢献に際し、心よりお祝い申し上げます。



二見 学童支援スタート



「くべ・わんぱく学童」

12月10日に久辺のみらい4号館で名護市の小学生を対象に「くべ・わんぱく学童クラブ」がスタートしました。初めは緊張した表情の子どもたちも、宿題を積極的に頑張ったり、友達や支援員と関わって遊ぶことを楽しんだり学童での生活を少しずつ楽しんでいる様です。これからもいろいろな体験を通して、感じたり学んだりできるように子どもたちと関わっていきたいと思います。



「ふれあいスクール」

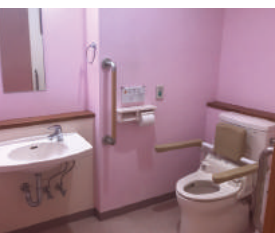
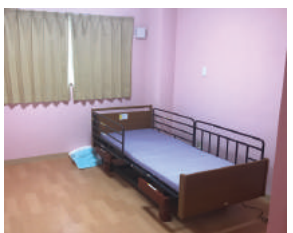
二見以北地域ふれあいスクールは、久志幼稚園の園舎を活動拠点として、各種活動を通じた異年齢交流や放課後を安全に過ごせる場所を確保することによって児童の健全育成を図ることを目的として活動しています。毎月の行事に合わせた制作活動や、サッカー、野球、時には園外に出て散歩や公園で遊んだりして楽しんでいます。また、夏休みには二見の里へ訪問し、利用者さんとの交流を持ちました。

ライフサポート縁 施設整備の状況

8月より本格的に工事が着々と進み、現在、1階部分の型枠工事終了。2階部分コンクリート打ち作業が終了致しました。今後は、建物の建築と並行してグループホーム利用者の編成を進めていきます。



ライフサポート郷里 開設



平成30年4月厚生労働省から新設された重度型グループホーム(正式名称:日中サービス支援型共同生活援助)が沖縄県で最初に平成30年11月1日に認可を受けました。

サービス付き高齢者向け住宅あかがーらの1F部分を利用して「ライフサポート郷里」という名称で開設する運びとなりました。

障害区分3以上の比較的重度な利用者様が利用できるグループホームとなっています。また、クリニック和睦と併設しているため、主に在宅で医療ケアが必要な利用者様も受入可能な環境を整えていきたいと考えています。スタッフ一同、利用者様が安全で安心して暮らしていけるよう真心を込めて支援致しますので、ライフサポート郷里をよろしく願います。詳しくは、お問合せいただければ幸いです。

新成人・生年祝い

桃の樹 新成人

桃の樹 利用者
玻名城 真人さん

桃の樹の最年少、期待のホープです。できることが増えるように日々チャレンジしています。

郷 生年祝い

平成31年1月20日(日)にムーンビーチパレスホテルにおいて、支援施設郷の、大田剛さん(71歳)、金城只さん(47歳)、都築勇気さん(24歳)の生年祝いを行いました。

利用者主体による、司会、開会の挨拶や、職員と合同による幕開けに、職員の余興と総勢100名による生年祝いとなりました。日々の支援をスライドショーにし上映、支援の充実にご家族の皆様は感動した様子でした。また家族会を代表して高江洲会長より生年者へ祝いの言葉とプレゼントの贈呈を行い皆様喜んでおりました。



平成30年度 名護わかば園・かふう・カラーズ合同秋祭り

平成30年5月1日に、児童サポートセンターカラーズが名護わかば園内に移動して初めての合同秋祭りが平成30年10月20日(日曜日)に開催されました。今回の秋祭りは、子ども達が司会進行を務め、屋台での販売をしたり、子ども達による舞台発表をしたりと大活躍でした。また地域の方々によるチアダンス(ハニーズ)、バンド演奏(古式弦楽伝承保存会)、エイサー(伊差川青年会)や抽選会などもあり華やかな楽しいひと時を過ごす事ができました。御出演団体の皆様、御参加頂いた皆様、心より感謝致します。ありがとうございました。



二見の里合同敬老会開催

平成30年9月19日(水)久志支所にて「さざなみ・前の浜・二見の里合同敬老会」が行われました。平日の開催にも関わらず利用者さんご家族も駆けつけ、賑やかな会となりました。二見の里職員の皆さんが『かじゃでい風』『マミドーマ』等の舞踊を披露。さざなみの職員が参加するウチナーグチ演劇集団比嘉座の『豆腐狂想曲』等の芝居も上演。今年から勤める職員の紹介も行うことができ、利用者の皆さんの長寿を祝うとともに、皆が交流できる場となりました。会の最後は『唐船どーい』のアコーディオン演奏を行い、全員参加の笑顔のカチャーシーで締めくくりました。



二見の里 感謝祭開催

去る12月2日(日)に瀬嵩の久志支所にて 二見の里感謝祭(二見の里・さざなみ・前め浜合同)が行われました。

ご利用者様やそのご家族、ボランティアや余興の皆様、来賓の方々が100余りお集まりになり、感謝祭が盛大に開催されました。おでんやジュース、ぜんざいのお食事をいただきながら、舞踊や三味線、民謡やエイサーなど、二見の里の職員による踊り、88歳米寿のお祝い者の記念品贈呈もあり、盛りだくさんで楽しむことができました。

足をお運びいただいた皆様、誠にありがとうございました。今後も職員一同、一丸となって皆様にお楽しみ頂けるようこれからも勢力的に活動していきます。



ライフサポート縁 旅行

今年度の計画として3年に一度の県外旅行を計画し、3班に分かれて実行する事が出来ました。

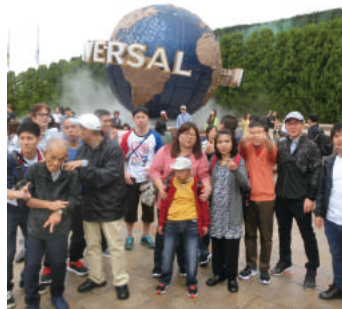
4月に利用者自治会で行きたい場所選びを利用者全員で検討し、1班、平成30年7月9日～7月11日、九州温泉旅行2泊3日を利用者13名参加。2班、平成30年9月18日～9月21日、東京ディズニーシー、群馬温泉旅行3泊4日を利用者14名参加。3班、平成30年10月29日～11月1日、愛知、岐阜、長野温泉とリンゴ狩り3泊4日を利用者18名参加と無事終了する事が出来ました。

目標を持って旅行計画し預金する事の大切さ、時間やルール、マナーを学ぶ貴重な経験だったと思います。また利用者同士の絆も強くなり思い出づくりに繋がった事と思います。



支援施設 睦 関西旅行

9月26日から28日に、ご利用者8名、職員8名、総勢16名が2泊3日の関西旅行に行っていました。奈良の大仏や鹿、USJ等、日頃体験できないことからご利用者の楽しむ姿や、新たな一面も見られ、職員を含め、みんなで楽しむ事ができました。



放課後等デイサービス合同運動会



11月17日土曜日、あけみおスカイドームにて、市内にある児童デイ事業所が集まり、合同運動会が開催されました。参加は、「カラス」「ポップ」「スキップ」「おもちゃ箱なご」「おもちゃ箱プラス」の5事業所です。今回で4回目を数え、年々盛り上がりを見せています。企画の目的は、運動を通して体験・経験を楽しみ、子どもたち、スタッフの親睦を図るものです。

近年では、児童デイ事業所の質の向上が求められています。「子どもの想いに寄り添った支援」「保護者と誠意の持った信頼関係」「スタッフの自己研鑽」が、事業所の質の向上に繋がると考えます。

支援施設 睦 ゆいフェスティバル

平成30年11月10日(土)、睦で組織されたエイサークラブで、うるま市石川市民会館で開催されました、ゆいフェスティバルに今年も参加する事ができました。二度目の参加という事もあり、ご利用者も伸び伸びと演技する事ができました。会場からの拍手を受け、達成することの喜び、成しえたという体験はとても良い機会になりました。



クリスマス会&忘年会



あかがーら

職員娘さんのクラリネット演奏からスタート。池原正彦民謡クラブの皆さんにて利用者様からリクエストで即興ラストはカチャーシーで盛り上がりました。



本部海陽園

平成30年12月16日(日) 本部海陽園内食堂にて、参加人数70名のクリスマス会&忘年会が行われました。

定年退職者紹介



郷
古波 蔵昇さん

利用者の皆様を始め、保護者、職員の方々には、22年間お世話になりました。就職してからこれまで、つらい思いや楽しい出来事など様々な体験をさせて頂きましたが、利用者様の笑顔や仲間にも励まされ、おかげさまで定年を迎えることができました。

職場で培った経験を活かし、今後に繋がりたいと思います。

短い文面ではありますが、皆様のご健勝を願い、私の挨拶と致します。誠に世話になり、有り難うございました。



里
福田 利江子さん

短い期間でしたが、名護学院で定年を迎えられることに喜びを感じています。日々の活動の中で、利用者様の健康面のサポートを微力ながらさせて頂きました。

利用者様が「なんか今日も楽しかった!名護学院楽しいぞ!」と思える場所は、利用者様にとって居心地の良い場所だと思います。「笑い」がいろいろな病気の特効薬ですね。利用者様が今日も笑顔で過ごせますように、職員の皆様が笑顔を与える事がいっぱいありますようにといつも願っています。

最後に、利用者様、ご家族様、職員の健康と御多幸をお祈り申し上げます。

勤続年数30年職員



わかば 宮城 雅恵さん

早いもので正職員として勤務を始めて、早30年が過ぎようとしています。改めて考えると福祉の学校を出てきましたが、実際にいろいろなものに興味を抱いていた若い時代に別の道に進んだことも有り自分が福祉の現場でこんなにも長く務める事になるとは思っていませんでした。実際この30年いろいろな事がありました、楽しい事、苦しい事、大人の方と一緒に作業をしたり、旅行に行ったりしたことも有ります。現在、名護わかば園で7年目となり主任として役不足ながら職務に付いています、定年まであと数年ですが利用者の方々と一緒にスキルアップを目標に日々楽しく過ごして行けたらと思っています。



里 安次富 孝子さん

学生の頃、栄養士に憧れ卒業と同時に、福祉施設について何も知らないまま昭和63年名護学院に入職。これまで栄養士として従事してきました。利用者様の身体状況の変化に伴い、食事提供が集団から個別へ変化する中で、365日3食提供していただいている厨房の皆さん、施設職員の方々の御蔭で私も共に頑張ることができました。

これからも利用者様の健康長寿に貢献できます様に、微力ながら努めてまいります。



睦 伊良波 浩子さん

30年を振り返ると、いろいろ思い出されます。泣き、笑い、葛藤、反省等が多くありましたが、周りの人に支えられながらここまでやってこれました。名護学院も事業所が増え、多種多様に大きく成長しました。

それに伴い利用者様のニーズに応え、楽しく生活が送れるよう、切磋琢磨しながら頑張っていきたいと思えます。



郷 金城 信治さん

昭和63年に名護学院に入職して30年余りの月日が過ぎ、時の流れの早さを感じています。入職時は生産活動が主で、地域の畑へ出かけ利用者さんとサトウキビ作業をしたり、スポーツ面では第5回那覇マラソン大会に利用者さんと出場し完走したことが、良い思い出になっています。

定年まで後数年ですが、今後も利用者さんのニーズに応え、楽しみの持てる支援を心がけ、精進したいと思います。

採用職員紹介(10月・11月・12月)



10月採用

縁 宮城 夏美さん

まだ経験が浅く、皆さまから教わる事の多い毎日です。日々精進していきたいと思えますのでどうぞよろしくお願ひします。



10月採用

あかり 仲兼久 さよりさん

たくさんの笑顔に出会えるような支援を心掛けていきます。



11月採用

ヘルパーふたみ 玉城 克尚さん

一生懸命頑張りますので、宜しくお願い致します。



12月採用

チムチム 玉城 大輔さん

初心を忘れず、日々努力・成長し、支援員としての職務が全うできるよう頑張っていきたいと思っています。



12月採用

睦 大城 まり子さん

施設での勤務は初めてで、戸惑う事も多いですがスタッフと協力し、ご利用者が安心した生活を送れるよう頑張ります。

社内研修

介護職員初任者研修

平成30年6月22日から開講致しました介護職員初任者研修が平成30年12月18日をもって終了致しました。受講生12名全員が介護職員初任者研修修了資格(旧ヘルパー2級)を取得しました。



介護職員初任者研修資格取得者の事業所別内訳表

障害者支援施設 里	2名	とらいあぐる	1名
障害者支援施設 睦	1名	二見の里	1名
ライフサポートひだまり	1名	国頭村	3名
サ高住 あかがーら	1名	東村	2名

事務員研修



対象者20名 実施期間 9月~1月(5ヶ月間)

法人初の試みで、平成30年9月10日から実施された事務員研修が、平成31年1月9日に終了致しました。

この研修は、厚生労働省の人材開発支援助成金を活用してOFF-JTとOJTの2部構成になっています。OFF-JTでは、理事長による法人の概要と経営についての講義から始まり、社会人としての心構えや報連相、コミュニケーションスキル等、外部講師による講義がありました。後半には、実務につながる内容になり、社会福祉法人会計基準の理解や、Officeソフトのパソコン操作

等を行いました。また、OJTでは、経理実務、財務管理、社会保険事務、文書取扱などの実務を通してスキルアップにつながっています。

参加者からは、「研修で学んだフォトリディングやマインドフルネスを活用した学習法を身に付けたい」、「努力するよりも、楽しんで学ぶほうが成果がでる!」という言葉に驚きました。「日頃行っている業務の中で不明な点や曖昧だった点をOJT担当者からアドバイスを受けながら解決していくことで、業務への理解が深まりました。OJT時間数分の訓練日誌の記入は大変ではありますが、学んだことや反省点を文書にして残すことで後から確認することができるし、文章力向上の訓練にもなると思うので、全てが訓練となり事務力アップに繋がる良い機会となりました」などの声がありました。

2月までOJT研修が続きますが、学んだことを現場で活用できるようにしていきたいと思えます。

クリニック職員紹介

クリニック和睦 新スタッフ紹介

平成30年12月1日付けで、障害者支援施設 郷からクリニック和睦へ異動して来ました具志堅治と申します。患者様、利用者様の気持ちに寄り添い、より良い看護を目指し地域医療に貢献してまいります。今後ともクリニック和睦共々よろしくお願い申し上げます。



施設
情報

沖縄県名護市字名護4558-48

TEL.0980-43-0418 FAX.0980-43-0417

社会福祉法人名護学院 事業所一覧

平成30年11月1日現在の職員数 539名

事業所名	管理者	郵便番号	住所	TEL (0980)	FAX (0980)
名護学院 法人事務局	事務局長 伊波 貴世香	905-0005	名護市為又1015-1	52-2277	52-6644
キッズライブラリー(ショップ43-9270)	//	905-0005	名護市為又1015-1	43-9870	43-9870
障害者支援施設 睦	施設長 玉城 辰彦	905-0005	名護市為又1015-1	52-2080	52-2090
障害者支援施設 郷	施設長 島袋 公枝	905-0005	名護市為又1015-1	52-5577	52-7744
障害者支援施設 里	施設長 吉田 英也	905-0005	名護市為又1015-1	52-3377	52-3399
福祉型障害児入所施設 名護わかば園	施設長 玉城 須嘉子	905-0006	名護市宇茂佐232-1	43-0057	54-2505
生活介護事業 かふう	//	905-1145	名護市川上257-1	43-5133	43-5135
児童サポートセンター カラーズ	所長 伊良波 薫	905-0006	名護市宇茂佐232-1	53-5355	54-2505
障害者支援施設 本部海陽園	施設長 田中 さとみ	905-0213	本部町字谷茶268	47-2622	47-2664
ライフサポート 縁	所長 玉城 初枝	905-0212	本部町字大浜878-16	51-6160	51-6161
ライフサポート ひだまり	所長 友利 英之 所長 大城 エリカ	905-0011	名護市字宮里1-3-18	43-5888	43-5885
生活介護支援事業 とらいあんぐる(パステル)	所長 比嘉 晃	905-1155	名護市我部祖河1205-3	43-5951	43-5952
生活介護支援事業 桃の樹	所長 玉城 美枝子	905-0009	名護市宇茂佐の森1-17-9	53-2961	53-2961
デイサービスセンター二見の里	施設長 玉城 ひとみ	905-2269	名護市字二見241-7	55-8788	55-8770
生活支援ハウス 前ぬ浜	所長 小浜 克正	905-2266	名護市瀬嵩12-1	55-8400	51-9008
小規模多機能型居宅介護事業 さざなみ	所長 又吉 明美	905-2266	名護市瀬嵩12-2	55-8793	51-9008
在宅支援センター ゆいとびあ	所長 平良 満	905-0212	本部町字大浜885-1	47-5355	47-5444
ワークセンター もとぶ	所長 知念 秀吉	905-0212	本部町字大浜858-9	43-5107	43-5108
ワークサポート ひびき	所長 金城 直人	905-0012	名護市字名護4558-1	53-3110	52-5630
グループホーム サンクバーナ	//	905-0602	伊是名村諸見154-1	45-2890	45-2891
サービス付き高齢者向け住宅 あかがーら	所長 岡部 倫	905-0012	名護市名護4558-48	43-0747	43-0748
ヘルパーステーション あかがーら	//	905-0012	名護市名護4558-48	43-0749	43-0750
ライフサポート郷里	//	905-0012	名護市名護4558-48	43-9778	43-9779
クリニック 和睦	事務長 當山 清博	905-0012	名護市名護4558-48	43-0418	43-0417
地域生活支援センター あかり	所長 宮里 多美子	905-0009	名護市宇茂佐の森1-17-9	53-6869	54-1672
障害者就業・生活支援センター ティーダ&チムチム	所長 中村 淳子	905-0009	名護市宇茂佐の森1-17-9	54-8181	54-3287

ホームページリニューアルのお知らせ

2018年10月より社会福祉法人名護学院のホームページをリニューアル致しました。

旧ホームページでは法人全体としての内容となっておりましたが、新ホームページでは各事業所ごとの紹介ページが設けられました。また、法人概要説明はもちろん、お知らせ情報、採用情報、広報誌のダウンロードやお問い合わせフォームが追加されました。現在準備中のページもありますが、作成が完了次第順次公開予定となっております。是非ご覧下さい。



社会福祉法人名護学院(公式ホームページ)
URL:<http://www.nagogakuin.jp/>

編集後記

「平成」の時代が終わりを迎えます。

「平成=天地異変」と思い浮かび、たび重なる自然災害からの学びが医療・福祉を大きく変革。更に各地でボランティア活動が活発になり、人との繋がり(支え合い)が再構築されたこの国のすごさを改めて感じました。

私たち福祉の現場でも、地域に支えられ、地域への貢献と、すべての人があたりまえの暮らしであるよう、その人らしい明るい未来の実現に取り組んでいます。

今回の広報誌『NagoMirai』31号においても多彩な情報を発信することで、ご利用者様をはじめ保護者の皆さま、各関係者、地域の皆様に事業の理解を頂き、今後もさらに地域と共に歩んでいきたいと思っております。

広報誌作成委員 K.M.K

NagoMiraiに込められた意味

「名護未来」とは、人と人がつくる温もりと利用者様の未来に寄り添うという意味が込められています。「NagoMirai」のaとiを(愛)繋ぐことで「慈愛の礎」を表現しています。

